

フットサルで「個」を伸ばせ!
NAGOYA OCEANS
FUTSAL SCHOOL



フランチャイズ加盟のご案内

資料をご請求いただきありがとうございます

運営会社（スクール本部）のご紹介

株式会社 UNICO MANAGEMENT 
www.unico-mgt.com

本社 : 愛知県名古屋市天白区植田山1-406-2 TEL.050-4560-2330
桑名オフィス : 三重県桑名市西方小谷2411 スポーツマジック桑名内 TEL.0594-25-9400
四日市オフィス : 三重県四日市市生桑町349-1 四日市フットサルクラブ内 TEL.059-334-9100

【事業内容】

■ スクール事業

「名古屋オーシャンズフットサルスクール」

日本フットサルリーグ（Fリーグ）所属

プロフットサルチーム「名古屋オーシャンズ」公認下部組織

愛知県・三重県下 16会場 / 全生徒数1000名 (2025年1月末時点)

Concept『感動できるスクール』を目指して

■ 施設運営事業

■ イベント事業

■ 研修・セミナー事業

運営会社（スクール本部）のご紹介

企業理念

「スポーツの価値創出と最大化」

スポーツは人々に様々なものをもたらしてくれます。
私たちはスポーツをただの娯楽だけでは終わらせません。
生きる上での大切な何かが詰まっていると本気で思っています。
その魅力や素晴らしさを一人でも多くの人に届けたい。
あらゆる視点でスポーツの「価値」を「創出」していき、
さらにそれが社会的に認知され文化になるよう「最大化」を目指します。



代表取締役
杉村大介

フットサル事業の現状と市場規模

日本におけるフットサルの歴史

日本では、1970年に札幌大学のサッカー部が冬季の雪によるトレーニング不足を補うために「ミニサッカー」としてフットサルを始めたのが最初とされています。1977年には日本ミニサッカー連盟が設立され、Jリーグの開幕やサッカーへの関心の高まりとともに、フットサルは全国で徐々に広まってきました。元Jリーガーがフットサルをプレイする姿がメディアで取り上げられると、競技人口は急速に増加し、1994年には全国に10箇所のフットサル施設が設立され、1996年には第1回全日本フットサル選手権が開催されました。2021年時点で、日本サッカー協会に登録されているフットサル選手は約34,000人です。

トップリーグの誕生と国際大会での活躍

2007年には、全国8チームによる全国リーグ「Fリーグ」が発足しました。現在では、Fリーグ1部には12チーム、Fリーグ2部には9チーム、さらに女性のためのウーマンズFリーグが10チームで構成されています。フットサル日本代表は、FIFAフットサルワールドカップでは2012年の大会でベスト16に進出し、AFCフットサル選手権では2012年と2014年の大会で優勝を果たしています。

※2020年 AFCフットサル選手権、2021年 FIFAフットサルワールドカップは、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。

フットサルの市場規模

フットサルは比較的新しいスポーツであり、市場全体の正確な規模を出すのは難しい面があります。しかし、『レジャー白書2022』を参照する限り、フットサルの参加人口は約120万人に上り、これはサッカーの参加人口の約3分の1に相当します。**フットサル市場の経済規模はおよそ167億円**と見積もられています。

フットサルである理由



1. 段階的な育成手段

「サッカー先進国の子供達はフットサル
(少人数制) から始める」

日本でフットサルが知られたのは最近なので、フットサルは大人になってから行う方が多いですが、サッカー先進国では子供達がフットサルからボールを蹴り始めます。

例えば、サッカー王国・ブラジルではジュニア世代にフットサルでボールを繰り返し多くさわることが重要視し、13歳頃から7or8人制、その後11人制と、その年代に応じた広さ、トレーニングが望ましいとしています。ジュニア世代は足元の技術の未熟さから考えられる視野の狭さ（足元に視点を集中してしまう）、キック力の限界、そして何よりいきなり11人制では一人ひとりがボールに触ることが少ないため、子供はあまり楽しくないというのが、その理由です。



2. 実戦的な技術の向上

「実戦の中でボールを数多くさわれる」

フットサルのコートサイズは、サッカーの約1/3（公式20m×40m）で5人制（うち一人キーパー）の競技です。一つのボールを11人で扱うのと5人で扱うのとは、単純に考えても5人で扱うほうが一人あたりのボールにさわれる回数が多いはずです。

育成の段階では個人の技術を第一に考えたトレーニングが望ましいのですが、実戦で使える技術、個人技でなければ意味がありません。

フットサルをすることにより敵がいて、味方がいる、あらゆる局面の中で活かせる技術の習得が可能です。

フットサルである理由



3. 実戦的な判断力の向上 「スペースが少ない分 敵のプレッシャーが早い」

狭いスペースでゲームをするということは敵のプレッシャー（ボールに対する寄せ、マーキング）が早くなります。プレッシャーが早い状況を繰り返し行くと、次第にその状況に慣れていきます。

そして工夫をするようになり、必然的に状況に応じた技術・スキルが求められます。

また、空いたスペースが少ない為、動き出しによりスペースを生かすことも求められます。



4. モチベーションの持続→向上心 「子供が楽しいと感じる局面が多い」

子供にとって楽しいプレーとはなんでしょう？ 子供それぞれの感性があるので、楽しいと感じるものはドリブル、パス、シュートと様々でしょう。ですが、ゴールを決めて喜ばない子供はいません。

フットサルのゴールまでの距離はサッカーより短く、チャンスの場面が多く発生します。逆に言うとピンチも多く発生します。

子供にとってドキドキする場面が多いと、もっとプレーがしたいという気持ちが強くなります。



5. 新しい夢の選択肢として 「フットサル選手という道」

現在は「日本フットサルリーグ」というフットサルのトップ選手による全国リーグが展開されています。そのリーグに所属している「**名古屋オーシャンズ**」は**プロチーム**であり、当スクールのトップチームでもあります。

子供達は当スクールでフットサル選手を身近に感じ、フットサル選手という新しい夢の選択ができるようになりました。また、サッカーとフットサルは同じ「フットボールファミリー」です。双方の発展が日本フットボール界体の底上げになると信じております。

名古屋オーシャンズフットサルスクール スローガン

『感動できるスクール』を目指して



なぜ、私達が「感動できるスクール」を目指しているのか？

それは「心」が動くと

競技力（パフォーマンス）も上がるからです。

子供達はロボットではありません。感動する心を持っています。

心が動くと「目標」「セルフイメージ」を

変える原因をつくります。

すると、次に「行動」が変わり

そのサイクルが続くと「結果（競技力）」がついてきます。

そんな「感動できるスクール」というスローガンを掲げ、

子供達の「心」にアプローチしていくには、

一人一人をきちんと観察しながら接していかなければ

見逃してしまいます。

技術を習得する・戦術を学ぶ・身体能力の向上・

心理的耐性の向上・規律を学ぶ…

サッカー・フットサル選手として競技力を向上させるには、

これらすべてにアプローチしていく必要があります。

しかし、私達が最も大切にしていることは、感動できる

…すなわち子供達の「心」を動かす、ということです。

「できなかった技術ができるようになり嬉しくなる」

「新しい戦術を学び、ライバルより少しサッカー・

フットサルがわかった気がして嬉しくなる」

「コーチからの嬉しい声かけでやる気が出てくる」

「このスクールに来たらなんだか伸び伸びとやれて

上手くなれそう、自信がついてきた…」

名古屋オーシャンズフットサルスクール スローガン



そして、素晴らしい指導者とは、
サッカー・フットサルの専門的知識があるだけでは足りません。
人の心理をよく知り、人間的な深さが必要です。
謙虚な心を持ち、学び続けなければなりません。
私達はスクールを大きくすることを最優先に考えていません。
足元をしっかりと見つめながら「質」を上げることを第一義に、
「一人でも多くの子供を感動させることができれば」と考えています。

名古屋オーシャンズフットサルスクール 概要

【動画】



オーシャンズスクールの理念

- フットボール（サッカー、フットサル）の「楽しさ」を普及する
- 子供たちの夢・目標・喜びを刺激し、サポートする
- 強制するのではなく気づかせることで根本的な理解を促し問題を解決する能力を引き出す

※ 当スクールは日本フットサルリーグ所属、日本初のプロフットサルチーム名古屋オーシャンズの公認下部組織です。

オーシャンズスクールの指導指針

【スクールのあり方】

1. 感動できるスクール（心を動かす）
2. 楽しみながら上手くなる
3. フットサルで上手くなる
4. 初心者から上級者まできめ細かな対応
5. 自分の考えを言語化（主張・説明）できる人間を育てる



スクールとして目指すプレイヤー像

『フットサルを通じて駆け引き（ゲーム）を楽しめるプレイヤー』

そのために獲得することとして、以下の項目を掲げています

- 色々な球種を蹴ることができる
- 思った方向、場所に止めることができる（次のプレイとリンク）
- ボールに囚われずにボールを扱える技術
- 最善のプレイを選択する為に情報を集めることができる
- 常に狙いを持っている
- ボールを持っていない時に関われる
- 予測ができる
- 要求ができる
- 狙いを持ち積極的にボールを奪える

名古屋オーシャンズフットサルスクール 概要

私たちが大切にしている言葉

「教える人が学ぶことをやめたら 教えることをやめなければならない」

これは私達がいつも忘れないようにしている言葉です

生徒たちはコーチの姿勢をいつも感じ取っています

本当はこの姿勢こそが一番伝えたいことでもあります

私達コーチングスタッフは大学生のアルバイトコーチにはできない

コーチングのプロフェッショナルとして、以下のスキルを日々追求しています



当スクールとして求められるコーチのスキルと理想像

1. 安全管理ができる
2. 声ができる、言葉ができる
3. 無駄のないタイムマネジメントができる
4. 狙いを持ったプランを立てられる
5. 説明がわかりやすい
6. レッスンテンポが良い(飽きさせない)
7. 流れの中で分析でき、かつコーチングできる
8. 押し付けない
9. 子供の心をつかむ、動かす
10. 承認する、褒めて乗せる、その気にさせる
11. 時には愛情をもって叱れる (何があっても絶対に手を出さない)
12. 保護者の理解と共感を得る

コーチ養成プログラムの全体像

オーシャンズスクールコーチが目指すこと（大ゴール）

継続的な自己研鑽とコーチ仲間とのナレッジ共有を通して
オーシャンズスピリットを体現したスクール運営ができる

【数値目標】 指導人数=1日平均30名以上

オーシャンズメソッド (OM) の理解

+

中ゴール①

運営スキルの獲得

クラスを
確実に/安全に
運営するための
スキル

- ✓ 日々の事務スキル
- ✓ ルーティン業務

+

中ゴール②

コミュニケーションスキルの獲得

信頼される人/
スクールである
ためのスキル

- ✓ リスクヘッジのコミュニケーション
- ✓ 感動創出のコミュニケーション

+

中ゴール③

マーケティングスキルの獲得

指導対象人数目標
(1日平均30名以上)
を実現するための
スキル

- ✓ SNSや各種ツールの活用
- ✓ 集客イベントの企画

+

中ゴール④

運営スキルの獲得

クラス/レッスンの
クオリティを
高めるための
スキル

- ✓ 商品力を高める考え方と具体的な行動
- ✓ 指導の中で必要な対生徒のコミュニケーション

OB選手紹介

サッカー（11人制）


Jリーグ（J1）チームへ入団



大南拓磨 選手 大府校出身 1997/12/13生まれ ジュビロ磐田→柏レイソル・U19日本代表



山田寛人 選手 大府校出身 2000/3/7生まれ セレッソ大阪  U16日本代表  FIFA U-17ワールドカップインド2017 U-17日本代表メンバー出場

田口裕也 選手 桑名校出身 2001/4/8生まれ 元セレッソ大阪西U15→四日市中央工業→[ガイナール鳥取](#) 

フットサル（5人制）



酒井春輔選手

四日市校出身
2006/10/23生まれ
U-18フットサル日本代表
名古屋オーシャンズU-12
→名古屋オーシャンズU-15
→名古屋オーシャンズU-18
→名古屋オーシャンズサテライト
→名古屋オーシャンズトップチーム



伴祐汰選手

長久手校出身
2006/5/5生まれ
U-18フットサル日本代表
名古屋オーシャンズU-12
→名古屋オーシャンズU-15
→名古屋オーシャンズU-18

トップチーム紹介

名古屋オーシャンズとは？

オーシャンズフットサルスクールのトップチーム『名古屋オーシャンズ』は、日本で唯一のプロフットサルチーム。日本フットサルリーグ（Fリーグ）ディビジョン1（F1リーグ）に所属しています。

「オーシャンズ」というチーム名には「海を越え世界へはばたいていきたい」という意味が込められています。



AFCフットサルクラブ選手権 優勝

2011年、2014年、2016年、2019年



JFA 全日本フットサル選手権大会 優勝

2007年、2013年、2014年、2015年、2018年、2019年、2024年



Fリーグ 優勝

2007年度、2008年度、2009年度、2010年度、2011年度、2012年度、2013年度、2014年度、2015年度、2017年度、2018年度、2019年度、2020年度、2021年度、2022年度、2023年度



Fリーグ オーシャンカップ 優勝

2010年、2011年、2012年、2013年、2014年、2017年、2018年、2019年、2022年、2023年、2024年



FUTSAL地域チャンピオンズリーグ 優勝

2007年



歴代監督

- 眞境名オスカー (2006年4月 - 2007年9月)
- 館山マリオ (2007年9月 - 2008年4月)
- ジョゼ・アジウ・アマランテ (2008年4月 - 2013年3月)
- ピクトル・アコスタ・ガルシア (2013年4月 - 2016年3月)
- ベドロ・コスタ (2016年4月 - 2019年3月)
- ファン・フランシスコ・フエンテス・サモラ (2019年4月 - 2024年3月)
- イマノル・アレグイ・サラサ (2024年4月-)

所属選手一覧 | 2024-2025 Season

<p>1</p> <p>ゴールマウスに宿る魂 ハイパススローワー 篠田 龍馬</p>	<p>4</p> <p>疾風迅雷アタッキング レフティー 水谷 颯真</p>	<p>6</p> <p>泰然自若！ 生粋の赤き情熱 宮川 泰生</p>	<p>7</p> <p>ピッチ上の コンダクター 安藤 良平</p>
<p>8</p> <p>スペインの無敵艦隊 ANDRESITO アンドレシート</p>	<p>10</p> <p>FABINHO ROCHA ファビーニョ</p>	<p>11</p> <p>赤き情熱 M1 ゴールキーパー 清水 和也</p>	<p>12</p> <p>帰ってきた 鉄壁ゴレイロ 田淵 広史</p>
<p>15</p> <p>スペインが認めた 頼れる男 吉川 智貴</p>	<p>17</p> <p>ドリブル 特攻隊長 八木 聖人</p>	<p>18</p> <p>世界の空へ！ 異次元ドリブルキラー 金澤 空</p>	<p>21</p> <p>不屈の闘志 鬼塚 祥慶</p>
<p>55</p> <p>フットサルDNAを継ぐ ニュージェネレーション 甲斐 稜人</p>	<p>77</p> <p>JACO ジャコ</p>	<p>※ 2024年4月現在の所属選手です。 ※ シーズン途中で変更になる場合があります。 ※ 最新の情報は以下のページでご確認ください。</p>	

選手の詳細情報はこちら！



フランチャイズ契約概要



フットサルで「個」を伸ばせ!
**NAGOYA OCEANS
FUTSAL SCHOOL**

名古屋オーシャンズフットサルスクール 本部は 以下のような方をお待ちしています

- フットサルスクール事業に興味がある方
- 地域の子供たちの成長を応援したいと思っている方
- 新規事業でスポーツ事業の導入を検討している方(または法人)
- 新規のスポーツクラスの導入を検討しているスポーツジム運営者
- 現状のフットサルスクールのリニューアルを考えている方(または法人)
- 独立を考えているスポーツインストラクターの方



名古屋オーシャンズフットサルスクール 開校の強み

- 「名古屋オーシャンズフットサルスクール」の商標が使える
- 20年間にわたるスクール運営の実績に基づいた**スクール運営ノウハウが提供**される
- **スクールコーチ養成プログラムが完備**している
- 開校前から開校後も本部による**徹底したフォロー体制**がある
- フットサル事業を通じて、**地域の子どもたちのやる気と自信を育成**できる
- 充実した**マーケティングや研修**により、他のフットサルスクールより**集客が図れる**



スクール運営の内容

【レッスンの流れ】

- ①レッスン準備
- ②レッスン開始
本日のテーマをスクール生に伝える
- ③レッスン終了
- ④後片付け・清掃 会場提供者へ挨拶
保護者とのコミュニケーション

【開校日・会費等(例)】

スクール実施日	週5日以上	
スクール開校時間	1日4~5時間程度の開校推奨 (例 15:30~20:30)	
スクール生時間	1回 50分 ~ 80分	
年会費	12,000円(税抜)/年/人 (1,000円/月/人)	
スクール保険	800円/年/人	
会費	幼児	週1回 5,000円(税抜)
		週2回 7,000円(税抜)
	低学年	週1回 6,000円(税抜)
		週2回 8,000円(税抜)
	高学年	週1回 7,000円(税抜)
		週2回 10,000円(税抜)

* 日常のレッスン以外に合宿、短期教室、イベント等を開催します



スクール開校に必要な人材、設備と費用

【必要な設備と人材】

- コーチ(スクール運営責任者、スクール生の指導担当) ※1名から運営可
- フットサルコートまたはフットサルができるスペース ※レンタル or 自社物件
- 備品(スクールバナー、ウェア、ビブス等)

【費用】

- 加盟金、研修費、ロイヤリティ



※必要な設備、人材、費用と収入の詳細は打合せ時にご説明いたします

本部から提供するものとサポート体制

①開校前打合せ

- ・開校所在地の立地調査、市場調査
- ・事業計画の作成
- ・スクール立上げ運営アドバイス
- ・資金計画の相談 (借入支援、返済計画)

②開校前研修の実施

- ・オーシャンズスクールコーチ養成プログラムに基づく指導方法を研修
- ・スクール運営、接客ノウハウの充実した研修体制
- ・指導マニュアル、運営マニュアル等を完備

③初期セットの提供、継続資材の提供

- ・開校に必要な初期セットの提供
- ・開校以降も必要な備品、宣伝材料物の斡旋

④集客支援

- ・スクール専用HPを提供 本部HPでの集客支援、集客アドバイス
- ・チラシ、パンフレット、のぼり等宣伝広告物の提供

⑤開校後フォロー

- ・SV(スーパーバイザー)による指導、運営相談
- ・その他の コーチの育成支援
- ・毎月の研修の実施



開業までのスケジュール

ご応募

個別打合せと加盟審査

所在地の決定と事業計画・資金計画

契約書締結

開校前打合せ

開校前研修・集客計画

スクール開校

- ※1 加盟要項について面談またはZOOMにて実施します。加盟審査では履歴書等の提出と面接をさせていただきます。
- ※2 加盟決定となった場合は契約書の読み合わせと必要書類を提出いただきます。
- ※3 開業までの活動についてのスケジュールを作成します。